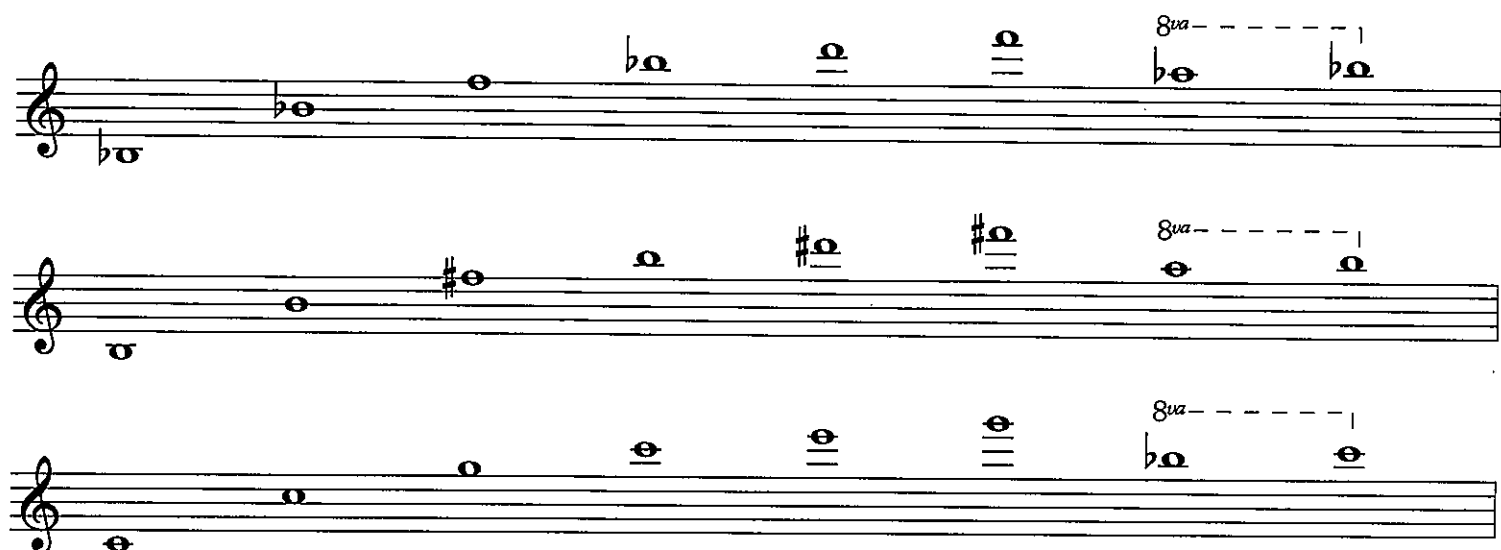


アンブシュアと吹き込む息の圧力を変えることによって、基音を通り越して、倍音をあたかも基音のように鳴らすことができる。このためには、アンブシュアを通常よりも強めにし（きつく、しかし丸く）、リードはわずかに多めに口の中に入っていることが必要である。ただし、これは下顎を軽く前に出すという意味であって、マウスピース自体を深くくわえるという意味ではない。

より高い倍音を出そうとするときは吹き込む息の量が少なくなるので、息の圧力は高められなければならない。このテクニックは、前のページに記載されているマウスピースだけのピッチを高めにするときと同じである。

以下の倍音列の練習は、全てのサクソフォーンで同じように行うことができる。ただし、（１）基音（B, C, C#, etc.）が高くなるにしたがって倍音を得るのが難しくなり、（２）ソプラノのように管が短くなるとクローズドチューブ（音孔を全て閉じた状態の管）の倍音はより難しくなる。



#### クローズドチューブの練習

